

□ IRの基本的な理念・考え

- IR整備が北海道のめざす姿の実現や本道観光における目標達成に向け、同じ方向の政策であり、更なる押し上げに貢献
- 豊かな自然環境など全道各地の滞在を重要なコンテンツに位置づけ北海道全体の価値や特性を活かした長期滞在交流拠点

□ 更なる検討を進めていくための前提条件

- IR整備によるギャンブル等依存症をはじめ社会経済的な損失を生じさせない対策の効果的な推進
- 日本IRを担える事業者の北海道への高い関心＝投資先としての評価（具体の事業構想の提案、出資検討など）

集客・収益を通じた 観光・地域経済の振興

- ・北海道の企業出資、事業参画、地元調達額の最大化
➢北海道価値を活かしたサービス＝ショーケース機能
- ・新たな観光客を取り込み、全道各地に送客・滞在を拡大
➢全道への送客機能を重視＝周遊観光のゲートウェイ機能
- ・地域の創意工夫による売上最大化、高収益の追求、各施設毎の需要想定を踏まえた必要な施設機能と投資規模（MICE、宿泊機能）
➢事業の継続性＝北海道らしさと施設の黒字化
- ・これまでにない（日本・北海道）観光客を惹きつける集客施設
➢新たな魅力の創出＝道民も含め多世代が楽しめる

一体的に整備
中核施設はカジノ施設と独立

中核施設	カジノ施設
<ul style="list-style-type: none"> ・国際会議場、展示場等施設 ・観光魅力増進施設 ・送客施設〔全国各地〕 ・宿泊施設 ・その他来訪及び滞在促進施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本人に対する規制 ➢消費抑制 ・供給制限〔延床面積3%以内〕 ・入場料賦課〔6千円/24時間〕 ・本人確認と入場回数制限 ・依存症対策

「中核施設」の来場者の一部がカジノ施設を利用

<北海道の価値・特性：IRの重要なコンテンツ>

- ・広大な大地（札幌～知床ウトロ(車)約420km、～函館(鉄道)約320km）（東京～名古屋：350km、東京～富山：約400km）
- ・雄大で貴重な自然（知床世界自然遺産、7つの国立公園755,572ha）、明瞭で多彩な四季の変化、パウダースノーなど
- ・食の王国北海道（農業産出額、漁業生産額ともに全国一位）
- ・新千歳空港(約2,400万人/年)をはじめ、旭川・函館・釧路など12の空港

<効果波及や懸念される影響などへの対応検討>

- ・立地市町村、周辺市町村、全道各地域など波及する具体的な効果のほか、懸念される影響についても具体的に想定し対策を検討

国における 依存症対策の強化・今、必要な対策

<国の責任において対応>

- ・現に存在するギャンブル等依存症の治療を必要とする方への対策
➢医療機関、支援機関の充実等
- ・厳格な規制、社会的な危害を最小化する仕組み
- ・カジノ管理委員会による監視と管理
➢カジノ免許、規制制度

<地域独自に対策を検討>

- ・カジノ粗利益15%、入場料の半額3千円を地方自治体へ納付
➢カジノ収益の社会還元
- 依存症対策、
観光・地域経済の振興、
文化芸術の振興、
社会福祉の増進、
財政の改善

□ 北海道らしいIRの実現に向けて

- 中核施設について、区域整備計画をとりまとめる地方の創意工夫を活かした高収益で持続的な施設群となるIRを検討
- 併せて、ゲーミング専有区域の延床面積の上限を遵守しつつ、MICE等施設について、施設基準・要件の緩和も検討